

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第24号—

令和元年10月1日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

地域に親しもう

10月は“神無月（かんなづき）”。1年を通して、たいへん学習や運動に適した季節です。また、読書や自然探索なども盛んに行われます。とりわけ、二十四節気の寒露の頃を境に五穀の収穫もたけなわになり、農家では繁忙を極め、山野では秋の色彩が色濃くなり、紅葉の美しい時を迎えます。

ところで、なぜ10月は“神無月”と呼ばれるのでしょうか。文字の解釈からすれば、10月は、“神様のいない月”ということです。日本中の神様が島根県の出雲大社に集まっているということです。ですから、出雲以外の日本各地では、神様がいなくなってしまうといわれています。反対に、神様が集まっている出雲地方では、この10月を何と呼んでいるのでしょうか。神様が集まっているのに、“神無月”とは呼べないはずですが、ですから、出雲地方だけは、“神無月”と反対の“神在月（かみありづき）”と呼んでいるそうです。私たちが普段何気なく使っている言葉も、方言も、その土地その土地で結構変化しているものです。おじいさんやおばあさんあるいは地域の人と話すとその土地の言葉や文化に触れることがあります。

全国学習状況調査では、「地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の質問に対して、「参加している」「考えることがある」と答えた子どもの割合が、全国的にみると年々低くなっている傾向だそうです。津吉小学校に限ってみると、下記の通り、地域の行事に参加している割合が非常に高くなっています。

【今年度の全国学習状況調査】	津吉小	長崎県	全国
地域の行事に参加していますか	89.5	69.3	68.0
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	52.7	53.1	54.5

2学期に入り、各地区の敬老会や保育所の運動会に招待され、参加する機会が数多くありました。その中で、津吉小学校の子どもたちが、温かく地域の中で育まれている様子を数多く目にしました。また、1学期にも、津吉小の子どもたちは、津吉茶市やジャンガラに参加し、地域の伝統文化を体験する機会も数多くありました。本当にありがたいことです。

爽やかな空気と豊かな自然に恵まれ、活動しやすい秋になりました。地域の行事に参加したり、校区の散策をしたりして、“私たちの町、津吉”ならではの貴重な文化遺産や豊かな

自然環境に触れ、風習や文化、歴史の変遷などを見つけてください。私たちの郷土“津吉”には、他の地域とは違う自慢したくなることがいっぱいあります。ぜひ、自分の足で見つけ、自分の目で確かめてください。おりしもこれから平戸ツーデーウォークや各地神社の例大祭等があります。

